

親潮

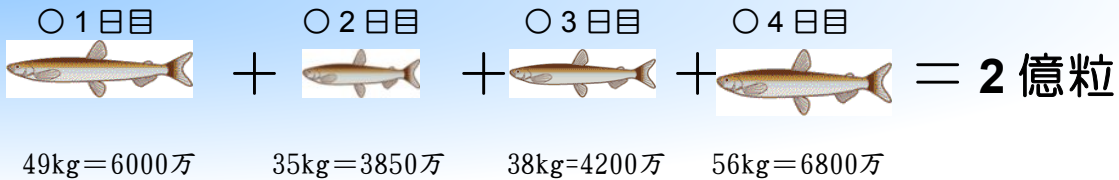
別海町立野付中学校
校長 田中 彰
2008/5/7 第4号

=ふるさとに生きる力を育む=

46年目 千力の採卵を終えて(ちょっと遅くありませんが)

本校の千力の採卵実習は、地域学習（総合的な学習の時間）の一環として行っています。もともと水産学習として本校で取り組まれてきた学習が、今は地域を知る学習として続いています。このほかに地域学習は、②ホタテの燻製づくり(3年) ③アサリの移植(1年) ④サケの採卵(2年) ⑤サケの三枚おろしと燻製づくり(3年)を行います。毎年行う学習もあれば、3年に1回しか経験できない学習もあます。その中でも千力の採卵実習は、今年で46年目。毎年必ず行う全校での取り組みです。

今年の採卵実習は、千力の成熟にばらつきがあり、すでに産卵したものや、成熟が遅れ固いままの卵であったり、当初実習が長引くだろうと予想されていました。しかし無事4月24日(木)、4日間の実習を終えることが出来ました。今年は、今までになく全校生徒46名が協力した年だったと感じました。46名の皆さんお疲れ様でした。



釧路新聞 2008.4.26(土) 朝刊より

野付中生徒
漁業の大切さ学ぶ
漁協で千力の採卵実習

総合的な学習の一環と
して別海町野付中学校
(田中彰校長、全校46人
の生徒らは24日、野付漁
協の協力で千力の採卵実
習を行い、地域の基幹産
業の一つである漁業の大
切さを学んだ。

この日は、午前6時か
ら同漁協の市場に集ま
り、水揚げされたばかり



の千力を一匹ずつつか
みしながら、約30分か
けて採卵。約7000万粒
を取り出した。

作業を終えて富田滉人
君12は「魚を扱う漁師
さんの大変さがよく分か
った」と疲れ切った表情
で話していた。同漁協関
係者は「地域の資源を守
り、作るこの大切さを
これからも学んでほし
い」と郷土の産業を担っ



生徒らは、千力を一匹ずつつかみ、約30分かけて採卵した



実習を終えて・・・ 様々な感じ方があると思います。自分たちの地域で行われている仕事に触れ、感じて野付を再発見してください。

《 3 年 》

気付いたこと

- ・でかい魚が多かった。
- ・以外と卵が重かった。
- ・チ力が大きかった。
- ・魚が減っている。

感 想

- ・今年最後の採卵だったのでできれば1週間やりたかった。
- ・今年メスが少なかった。やはり朝はきつい
- ・今年卵の量が少なく、なかなか終わらなかった。でも勉強しなくてすむのももう少し続いても良かった。
- ・今年、最終日以外メスが少なかった。今年小さいのがたくさんいた。
- ・疲れた、眠い。
- ・2日分の時(初日は月曜日)はすごくいっぱいとれたけど、それからは少なくて大変だった。
- ・今年、しぼれるのとしぼれないチ力があって、採卵しづらかった。
- ・今年オスが多くてメスが少なかった。
- ・朝の作業はきつい。

《 2 年 》

気付いたこと

- ・漁師さんは、毎日このような仕事をやっていることが分かった。
- ・漁協の女の方もチ力の採卵に来ていることがわかった。
- ・チ力はその日によってとれる量がすごく違うと分かった。漁協の人は、早い時間に来て大変だと思った。
- ・今年寒かったからチ力が少なかった。
- ・チ力の採卵のめんどくささや辛さを2年になってわかった。
- ・魚が減っている気がした。(2)
- ・水温で産卵が始まり、終わることが分かった。
- ・漁師は、朝早く大変だ。
- ・中チ力は大チ力より値段が高いこと。漁業の人たちは、もしかしたらほぼ毎日朝早く起きて作業をしているのはとても大変だなと思った。
- ・気付いたことは、去年に比べてチ力の卵が少なかったこと。後漁師さんは、朝早くから起きて寒い中でやっていること。
- ・チ力の量が減っているんだなあと感じました。
- ・漁師もチ力の採卵をすることが分かった。
- ・その年によって、とれるチ力があんなにも違うのかと思いました。
- ・すごく忙しい仕事だなと思いました。
- ・チ力の背中をさわってザラザラしていたらオスでザラザラしていなかったらメスだと言うことが分かった。
- ・カメラマンが来ていた。

感 想

- ・今年あまり早くできなかつたけど来年はちゃんとやりたい。
- ・いい体験ができて良かった。去年よりてきぱきできた。
- ・4日間、チ力の採卵をやって、1日目と3日目が量が多くて大変だった。
- ・1日目は、予想以上にチ力の量があったのでびっくりしました。2・3日目といくと初日より少なく、早く終わってしましあまり楽しくなかったです。4日目は初日より多く採卵できてうれしかったです。
- ・大変だったけど意外と面白かった。
- ・チ力の採卵をやって朝早く起き、まだ眠たいときに採卵が始まりとてもつらかった。毎日こんな仕事をしていると体が持たない様なほど体がきつかった。でも組合の人たちはこれを毎日やっているので「すごいなあ～」と思いました。